

「S1p059R4.bas」

1. ファイル名 : Jis Full BASIC

ユーザープログラム 「S1p059R4.bas」

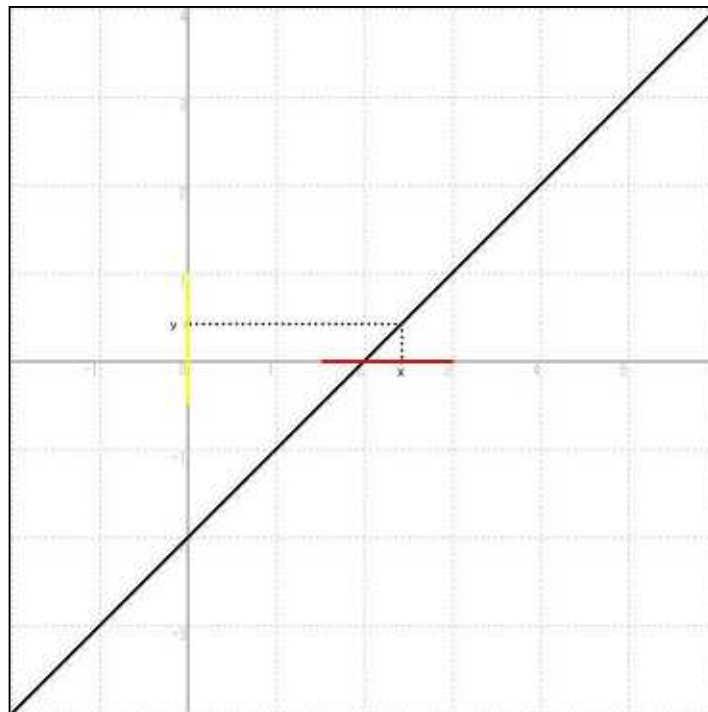
2. 対応分野 : 数研出版 数学 p59 A関数(定義域と値域)

例4 関数 $y = x - 2$ ($1 \leq x \leq 4$) のグラフと値域

3. 実行 : Jis Full BASIC 起動後、「開く」「実行」と操作すると

(1) $y = x - 2$ のグラフと $x = 3$, $y = 1$ (既定値) の対応関係が表示される。

4. 操作 :



(1) [] [] キーで図の x を左右に移動させることができる。

(2) [S] キーで定義域の初期値 1 へ移動する。

(3) [R] キーで既定値 3 (初期画面) へ移動する。

(4) [Enter] キーで作業を終了する。

5. 目的 :

(1) 定義域に対する値域を視覚的に理解させる。

(2) y 軸上への影の集まりであることを認識させる。

6. 利用時期 :

(1) 教科書導入時

「関数 $y = x^2$ において、 x の変域が アイ $x \geq 1$ のとき、 y の変域は ウ $y \geq 9$ である。」

(アチーブメントテストより) において、アイ の正答率 66% に対して、ウ の正答率はほぼ 55% であり、**グラフをかいて考える** という習慣が定着していないようである。

(2) 指導後の追認作業として用いても良い。